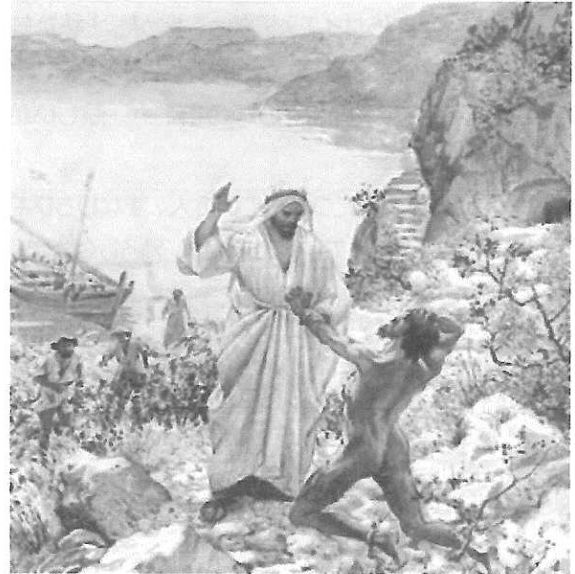


＜イエスの愛と権威＞

マルコ 5 ; 1～20



「向う岸へ渡ろう！」と言って弟子達と舟に乗り込んだのはイエスさま。
その目的は？墓場に住むゲラサ人に会うために、ゲラサ（ゲルゲサ）へ来た？！

イエスが舟から上がられると、すぐに、汚れた霊につかれた人が墓場から出て来て、イエスを迎えた。
この人は墓場に住みついており、もはやだれも、鎖をもってしても、彼をつないでおくことができなかつた。

【2、3節】

＜ゲラサ人の人＞

- ・汚れた霊の名は「レギオン」・・・6千人を超えるローマの大軍団の名。（6千の霊）
- ・汚れた霊たちは、イエスさまがいと高き神の子であり、その権威を知っていた。

1、イエスキリストは全ての権威を持つ方

- ◆イエスさまは神の権威によってレギオン(大勢)の霊を、ゲラサの人から追い出した。
いと高き神の子、イエスさま。いったい私に何をしようというのですか。神の御名によって
お願いします。どうか私を苦しめないでください。【7節】
- ◆悪霊たちは、自分が裁かれる時を知り、裁き主がイエスキリストだと知っていた。
底知れぬ所に行け、とはお命じになりませんように。 ルカ 8 : 31
神の子よ。いったい私たちに何をしようというのです。まだその時ではないのに、もう私たちを
苦しめに來られたのですか。 マタイ 8 : 29

2、豚二千匹より価値ある人

市場価値・・・その人が社会にとってどれだけ重要であることを示す指標
墓場に住んでいたゲラサ人の市場価値は？

彼らはイエスに願って言った。「私たちが豚の中に入れて、彼らに乗り移らせてください。」
イエスがそれを許されたので、汚れた霊どもは出て行って、豚に乗り移った。すると、
二千匹ほどの豚の群れが、険しいがけを駆け降り、湖へなだれ落ちて、湖におぼれてしまった。

【12、13節】

悪霊につかれていた人、すなわちレギオンを宿していた人が、着物を着て、正気に返って
すわっているのを見て、恐ろしくなった。

【15節】

驚き！ 憤慨！ ここから出て行って！

人びと・・・ 一人の魂には無関心。それよりも経済的損失を問題視。
イエスさま・・・二千頭の豚より、一人の魂の解放と回復が大切。

- ◆私たちの市場価値は・・・？ イエスさまと同等の価値！
イエスキリストのいのちと引き換えに、罪赦されて神の子とされた。

3、主がしてくださった事を家族や地域に言い広める

一緒に行かせてほしい！ NO！

「あなたの家、あなたの家族のところに帰り、主があなたに、どんなに大きなことをしてくださったか、
どんなにあわれんでくださったかを、知らせなさい。」そこで、彼は立ち去り、イエスが自分にどんな大きな
ことをしてくださったかを、デカポリスの地方で言い広め始めた。人々はみな驚いた。 19～20節

- ◆七つのパンと少しの魚で四千人の人々を満腹にした奇跡は、デカポリス地方で
起こった。異邦人の地で、福音を求めて男子だけでも4千人もの人が集まった
のは、ゲラサ人の証しによる！